

# 第15回わくわくコンサート

## — みんなで楽しむ音楽鑑賞会 —

代表者 三木 祐 香 (教育学部 学校教育教員養成課程  
小学校コース 保健体育科領域 4年)

### 1. 目的と概要

#### 【目的】

本事業は、小さなお子様や特別な支援を必要とする方など、日ごろコンサートに参加することが難しい方をはじめ、誰もが気軽にホールで音楽を楽しんでいただける機会を創出することを目的とした活動で今回、15回目を迎えました。香川大学生を中心に活動し、先生方や大学職員の方々、卒業生、演奏者、企業、団体等のご協力を得て、毎回無料でコンサートを実現しています。演奏を楽しんでいただくことをはじめ、その年のテーマに沿ったイベントを行い、テーマ国の文化や芸術にふれていただく機会となること、またそれを通して市民の方々の交流・共生の場とすることも目指しています。

#### 【概要】

◆プログラム(指揮:小森康弘 オーケストラ:Wakuwaku 室内管弦楽団)

テーマ:——フランスに花開く異国文化—— - La Danse en France -  
異国文化・ダンス・フランス

1. 高橋宏樹: アルルのサクソス展覧会
2. J. P. ラモー: 『優雅なインドの国々』より
3. C. サン=サーンス: 組曲「動物の謝肉祭」—動物学的大幻想曲— より  
= 異国の動物たち + ダンスバージョン =
4. M. ラヴェル: ポレロ

◆イベント

ロビー展示:

《動物の謝肉祭》(高松市立国分寺中学校美術部作成)原画展

(新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため楽器体験等は中止)

◆主催等

主催:第15回「わくわくコンサート」実行委員会 共催:(公財)高松市文化芸術財団

後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

香川県 香川県教育委員会 高松市 高松市教育委員会

助成：(公財)置県百年記念香川県文化芸術振興財団  
協賛：(公財)南海育英会 松楠会(香川大学教育学部同窓会)  
協力：香川大学 EU 情報センター(香川大学図書館)幸楠会(香川大学教育学部後援会)  
(株)レアスウィート 美巧社

#### ◆日程等

- 2月 新実行委員会本部立ち上げ プログラム・イベント等検討・助成金申請
- 7月 実行委員決定 1回全体実行委員会(10月へ延期)  
各種配布物等準備・当日ボランティア募集
- 10月 後援・共催等確定 曲目・演奏者最終決定  
第1回実行委員会
- 11月 チラシ入稿 入場者数決定  
チラシ配布先決定  
当日ボランティアの募集締め切り  
プログラム入稿  
配布物(曲目解説・クイズ・歴史案内・アンケート)の作成
- 12月 ホール打ち合わせ  
チラシ・ポスター完成
- 1月 本部会議  
第2回全体実行委員会(メール審議)
- 2月 わくわくコンサート本番 反省会  
報告書等作成
- 3月 報告会参加

## 2. 実施期間(実施日)

令和4年2月6日(日) 13:00~16:00(開場12:20)

## 3. 成果の内容及びその分析・評価等

#### ◆集客方法と広報、運営体制

本コンサートは、2月6日に開催しました。チラシ入稿期限ぎりぎりまで入場者の人数制限について悩みました。本年度の入稿時点ではコロナ感染者数が落ち着き、100%入場可能だったためです。その後もその規則については改正されることはありませんでしたが、結果的には感染者が増えてきた時期の開催となったために入場者50%での開催決定が功を奏しました。昨年につき、入場者をFormsでの応募制としました。昨年の反省をもとに、一人一人の申し込みとしたことや、注意書きを詳細にして入場許可証を送付したことなどは改善できた点です。1月11日に

学校関係にチラシを配布したところ、14日午後には500名（ホール収容可能人員の50%）の定員に達しました。会場の使用は3階席までフルオープンとしソーシャルディスタンスを十分に確保しました。また、当日までに相当数のキャンセル待ち希望の電話の対応に追われたこともあり、本コンサートの人気が見えられました。



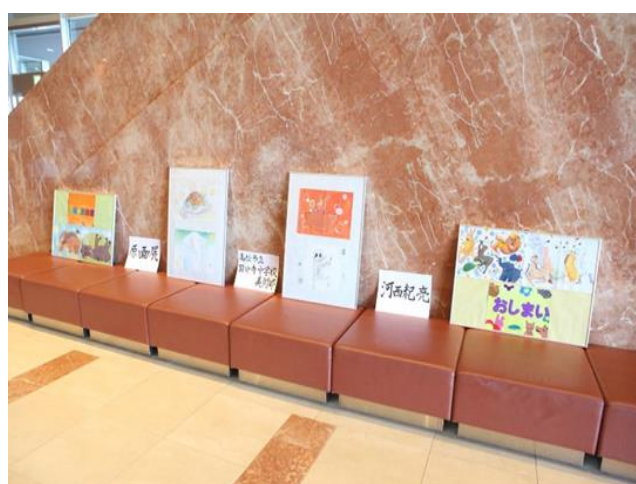
10月には開催の可否を含め、先が読めない状況であったため、HPに予告を掲載し、来場方法については後日のお知らせとしました。昨年「確実にコロナ対応してくれていた」というお声も複数いただき、コロナ禍の中でもお客様の「音楽を聴きたい」という気持ちや、昨年度の実行委員会の対応の評価が高かったことが見えました。

第2回実行委員会の対面での開催は、昨年度に続き難しかったですが、早期からライングループを作り、随時連絡を行いました。

#### ◆コンサートの内容

今回は「フランスに花開く異国文化」をテーマとし、テーマ国をフランス、サブテーマにダンスを設定しました。このテーマに沿い、4曲の作品でプログラムを組みました。特に2曲目のラモーは現在フランスをはじめヨーロッパでも上演の機会の増えているバロック作品に、2024年のパリオリンピックで新種目となるブレイキンの要素を取り入れたダンスとともに上演するという企画でした。ダンス部にブレイキン部門がないなど、様々な紆余曲折がありましたが見ごたえのあるダンスを披露していただきました。

次に《動物の謝肉祭》は、谷川俊太郎の詩と高松市立国分寺中学校美術部のメンバーが描いたイラストと音楽というコラボレーションになりました。また、演奏者には、今回KJO（香川ジュニアオーケストラ）を卒業した香川県出身の奏者に加わっていただきました。



#### 4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

今年度は、コロナ感染の先行きが不透明であったため例年行っていたラジオ番組での広報活動がありませんでした。それにも関わらず予約開始からわずか3日間で定員に達しました。これには昨年度のコンサートが関係していると考えます。昨年度は、終演後に多くのお客様から「素敵なコンサートを開いてくれてありがとう」、「楽しかった、また来たい」等のお声をいただきました。中には感動の涙を流しながらコンサートの感想をスタッフに仰っていたお客様もおられました。「去年のコンサートが良かったから、今年も参加しよう」とお考えになった方が増えたのではないかと考えています。わくわくコンサートが地域の方々にとって、欠かせないものになりつつあるということを実感しました。

#### 5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

本事業を通して、情報共有の重要性と協力し合うことの大切さを学びました。例年のわくわくコンサートはホール内の席を全て使い、楽器体験や指揮者なりきり体験等、ロビーやホール内でのイベントを行っていました。しかし、第14回そして第15回(今回)のコンサートは新型コロナウイルスの影響を受け、大人気のイベントは中止にならざるを得ませんでした。それに伴い、運営に携わる学生に今まで引き継いできた仕事とは異なる仕事をお願いしなければなりません。加えて、感染症対策のため、運営人数を最低限にとどめる必要がありました。これらのように、様々な変更がある中、分からないことがあればSNSを用いて連絡を取る等、可能な形で情報の共有を図りました。

コンサート当日には、活動場所が主に3か所あります。ロビー、ホール、舞台裏です。各場所に責任者がおり、当日はそれぞれの場所に実行委員及びボランティアの学生が配置され活動しました。一人一人が活躍し、全員の力が合わさった結果、ご来場いただいたお客様を笑顔にすることができました。

また、本事業は香川大学内だけで完結するものではありません。香川大学生を中心に活動しているとはいえ、演奏者、企業、団体等、卒業生、先生方や大学職員の方々、本当に多くの皆様のご協力を得て、成り立っています。学生だけでは本事業を行うことはできませんでした。平成19年度から続いているコンサートを今年度も無事に開催できたことを嬉しく思います。

#### 6. 反省点・今後の展望(計画)・感想等

今年度は、昨年度の感染症対策や反省点を踏まえた上での開催となりました。様々な我慢を強いられる中で、地域の方々の心の癒しとなれば、コロナ禍において本事業を実施したことに意義を感じます。

運営に携わった学生からいくつか反省点が挙げられました。いちばんの反省点は仕事の内容説明が不十分であったことです。対面での打ち合わせが難しい状況だったため、文書を作成して仕事内容等について周知しました。昨年度の運営に携わった学生は昨年度の記憶を頼りに文書を読んだり、仕事内容を思い出したりすることができました。しかし、ほとんどの学生は今回が初めての参加であり、文書を読んでも「なんとなくやるべきことは分かるけど、具体的に何をすればよいのか分からない」という状態に陥っていました。中には「去年参加したから分かるけど、

初めての人にとっては分かりづらい資料かも」と指摘してくれた学生もいました。前回そして今回のコンサート運営に主体となって携わった4年生の学生はこの春で卒業となります。コロナ禍の中での経験を具体的な形で次の実行委員たちに確実に継承するには、仕事内容を記載した資料を再度見なおし、作り直す必要があります。来年以降もわくわくコンサートが良い形で継続していけるように、そしてその他にも気づいた反省点を検討し、これから改善していきたいと思えます。

次回、「第16回わくわくコンサート」はサンポートホールの改修が予定されているため会場を移しての開催を予定しています。もう既にメンバーの募集や申請書の作成、プログラムの検討等も始めています。来年度も実行委員を中心に多くの学生や地域の方々に関わっていただきながら、誰もが楽しめるコンサートを作り上げていきたいと思えます。

## 7. 実施メンバー

代表者:三木祐香(教育学部4年)

構成員:山科春乃(教育学部4年) 吉岡利矩(教育学部4年)

谷口晴香(教育学部3年) 坂本実優(教育学部3年) 氏原小雪(教育学部3年)  
 大治蘭菜(教育学部4年) 國廣奈菜子(教育学部3年) 角川幸翼(教育学部3年)  
 畠山結衣(教育学部3年) 西本匠舞(教育学部2年) 玉井亮輔(教育学部3年)  
 小松奈那子(教育学部2年) 磯本優花(教育学部3年) 前田優衣(教育学部2年)  
 福田智久(教育学部2年) 藤井香帆(教育学部3年) 早川竜生(教育学部3年)  
 岡本知子(教育学部3年) 米盛心優(教育学部2年) 久保遥香(教育学部3年)  
 磯野舞奈(創造工学部2年) 鬼田年敦(農学部1年) 山本慧(農学部1年)  
 間々瀬静真(創造工学部1年) 磯田祐菜(教育学部1年) 小嶋望愛(教育学部1年)  
 高崎莉奈(教育学部1年) 古市純平(教育学部1年) 稲垣温人(教育学部1年)  
 藤田太紀(教育学部1年) 前田光望(教育学部2年) 岩崎菜奈(教育学部2年)  
 小倉莉子(教育学部1年) 末澤美咲(教育学部1年) 山本龍太郎(教育学部3年)  
 竹内梨沙子(教育学部2年) 荻田朱理(教育学部2年) 中川昂史(教育学部2年)  
 青山夕夏(香川大学教員)

## 8. 執行経費内訳書

配分予算額		200,000円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
チラシ	32,000	4.38	140,160	
パンフレット	1,300	41.80	54,340	
ポスター	5	1,100	5,500	
*デザイン含む, 封入作業含む				
合計			200,000	

